

★ 提案4の賛成意見 ★

Californiaには非営利チルドレン病院が八つ、さらにCalifornia大学チルドレン病院が五つある。毎年二百万件以上、重病を患っている子供たちがCaliforniaチルドレン病院で高度な専門的治療を受けている。家族が支払える金額に関わらず

複雑な医学的状态と生命を脅かす疾患を抱える子供たち。癌病的細胞。嚢胞性線維症。

当院は小児科臓器移植全体の97%、小児科心臓手術全体の96%、さらに小児科癌治療全体の76%を行っている。

新しい画期的な研究、新しい命を救えるテクノロジーで、最高の小児科専門医たちが、Californiaチルドレン病院で毎日治療にあたっている。現在では、白血病の小児患者の85%が治癒し退院している。

最先端の小児科研究センターである当病院は、Californiaの子供たち全員が二度と戻って来なくて済むようにするための画期的な研究を行っている。

当院の成功により、需要はますます高まっている。当院は、California中の多くの他の病院から子供たちが紹介されてくることから、地域ハブになっている。

提案4は、もっと多くのCaliforniaの子供たちを治療できるように当院で診察する各患者あたり年間\$40未満の金額を投資することを有権者に検討す

るよう依頼します。

14年前、California州民は最初の公債を購入してくれた。それ以来その信頼を名誉に感じている。全ての資金は新しい施設の建設、古い施設の現代化、病床の増加や最高かつ最新の医療テクノロジーの購入に費やされ多くの子供たちを地用するために支出されている。

州財務局がすべての州債を管理しているが、上院および議会衛生委員会(Assembly Health Committees)に「このプログラムは特に非常に成功を収めている。」と証言した。

我々は自信の業務に職業上の誇りを感じている。人として、我々は子供たちの中の無邪気な強さ、家族の愛情、スタッフの目的意識、後援者の寛容さ、そして人間の精神の勝利を目にする栄誉に恵まれている。

チルドレン病院を支援する何百万人ものCaliforniaの有権者に加わるようにお勧めする。

我々全員は提案4—より多くの子供たちを治療するための建設、に再選票を投じることができる。

JAMES STEIN, M.D.、小児外科医

MARIA MINON, M.D.、医務部長

ROBERTO GUGIG, M.D.、小児科消化器医

★ 提案4の賛成意見に対する反論 ★

何十年にもわたり、投票対象の法案に対する反論を提出して、有権者が確実に反対の意見を受け取るように努めてきました。

不公平な固定資産税制度

固定資産税の増税を提案している法案に対する異議の一つは、Californiaの固定資産税制度が不公平だという点です(反論1で説明)。

公平にするための制度改革

固定資産税制度は、例えば、不動産価格の上昇によってのみ全体の税収が増収になることがないように、すべての不動産を定期的に精査するが自動的に税率をさげるなどのように、変更することが可能です。

もちろん、変化を起こす際の困難の一つには、様々な人や事業は現状維持に異なる既得権があるからです。

ヘルスケアの改善を幅広い視点から見るこの特定の法案については(チルドレン病院をさらに支援するための資金の借り入れ)、まずヘルスケアシステム全体の改善を考慮することをお勧めします。

米国(そしてCalifornia)にはヘルスケアを提供している多くの優れた専門家がいる一方で、米国は多くを支出していますが、ヘルスケア結果では国際的なランキング上位からはるか遠いところにいます。さらに、何百万人ものCalifornia住民には基本的なヘルスケア補償さえありません。

州当局の候補者に尋ねる

11月の州当局の候補者—知事を含む—にはCaliforniaのヘルスケアを改善するための良い考えがあるかもしれません。尋ねてみましょう。

GARY WESLEY

★ 提案4の反対意見 ★

これは、他の法案に加えてさらなる一般保証公債の発行を認めるものです。この提案は有権者に対し、公債の売り出しという形でさらなる借金をCalifornia州に許可するよう求めています。公債とは通常何十年もかけて利息を上乗せして返済しなければならないものです。そのために固定資産税が増額される可能性があります。

「可能性がある」と申し上げたのは、公債収入が各種プログラムの資金として利用される一方で、プログラムの受益者(Cal-Vet住宅・農場ローン(Cal-Vet home-farm loan)プログラムを利用する住宅所有者など)が返済費を負担するケースもあるからです。

公債法案というものはいくつかの疑問を伴います。

1. 政府は現状でどの程度の債務状態にあるのか。
2. 各法案によって一般市民に課される合計負担額はいくらになると見込まれているか。
3. 資金の用途案が明示されているか。
4. 必要または強く望まれる他の事柄を考慮したうえで、提示された用途案が正当なものであると言えるか。
5. California州の固定資産税制度が非常に不公平である状況において、有権者が固定資産税の増額という形で各種プロジェクトに資金を提供し続ける必要があるのか。

CALIFORNIA州の不公平な固定資産税制度

1978年、California州の有権者は、ある有権者発案(当時の「提案13」)を承認しました。この発案により、資産の所有者が変わる場合や大幅な改築時を除いて不動産の「再評価」を禁止するという条項がCalifornia州憲法に追加されました。

この提案13は、資産価値の上昇に伴う急激な増税から不動産所有者を守りましたが、その一方で、新たに住宅を所有する人々が、同じエリアでほぼ同価値の資産をはるか昔に購入した隣人たちと比べ10～20倍もの金額を支払わなければならないような制度を生み出しました。

また、企業資産は多くの場合(売却ではなく)リースされるため、提案13は、全体としての固定資産税の負担者を企業から個人住宅所有者へと大きくシフトさせました。

各投票法案の賛成者には、全体的な代償の大きさや選択可能な代案、他のニーズや要望の存在にもかかわらずこれを支持する意義を説明する責任があります。

この提案に関し、賛成者は反論の機会を生かして上記1～5の疑問に答えるべきです。

GARY WESLEY

★ 提案4の反対意見に対する反論 ★

提案4は毎年200万人の病気の子供たちを支援します。固定資産税または提案13とは何の関係もありません。専門家に聞いたところこんな答えが返ってきました:

Joe Harn、El Dorado郡監査人-監査役、州、

「提案4には固定資産税からは1ドルも充当されません。以前のチルドレン病院債券には固定資産税からは1ドルも充当されていません。州財務部長、州監査役、郡査定人、または徴税官(いずれの政党)全員がこの事実を証言するでしょう。私はCaliforniaで最も保守的で、緊縮財政を好む郡監査人監査役とし

て知られています。提案13を守り提案4に賛成票を投じることができます。」

Jon Coupal、Howard Jarvis納税者協会の理事長はこう言っています。

「提案13は住宅所有者を40年以上を保護してきました。この法案は提案13によりCaliforniaの住宅所有者に与えられた保護をおびやかすことは全くありません」

提案4に賛成の投票をしていただきたい。

ANN-LOUISE KUHNS、

Californiaチルドレン病院協会理事長